

プロフィール

クリストファー遙盟 (尺八奏者、民族音楽研究家) www.yohmei.com

Christopher Yohmei

尺八奏者。アメリカ、テキサス生まれ。1972年に来日。竹盟社宗家・人間国宝故 山口五郎師に師事つつ、82年、東京芸術大学大学院を修了、国内、中国、東南アジア、旧ソ連、ヨーロッパ、カナダ、アメリカ、インド等で演奏し、また国際交流基金等による派遣・招待によって各国の大学や教育機関にて日本音楽の教授活動を行う。古典を継承する一方で尺八という楽器の可能性を探って、他の分野の芸術家たちとの共演も多い。CDは「*Striking Light, Striking Dark* (一つになるもの)」、 「NAVARASA」、 「Breathplay」、 「浩々妙音」 (ブライトワン・レコーズ)、 「迦楼羅の夜」、 「遙なる笛」 (テイチク)、 と「禅問答」などが発売。著書は、「ザ・尺八—演奏習得の手引き」 (2005年、音楽之友社)、 *The Single Tone, A Personal Journey into Shakuhachi Music* (2005年、Printed Matter Press)、 「尺八オデッセイ—天の音色に魅せられて」 (蓮如賞受賞作品、河出書房新社出版、2000年)、 英語の尺八学習のテキスト&参考書、 *The Shakuhachi, A Manual for Learning* (2008年、Printed Matter Press)、 「ボルダー国際尺八音楽フェスティバル'98」と「シドニー国際尺八フェスティバル'08」などの実行委員。現在、ハワイ大学での客員教授 (日本音楽)。合気道四段。

共演した芸術家たちの例: 山口五郎 (尺八、人間国宝)、山本邦山 (尺八、人間国宝)、横山勝也 (尺八)、芝 祐靖、(龍笛)、藤井久仁江 (三味線)、田中悠美子 (太棹三味線)、佐藤充彦 (ピアノ)、宮田まゆみ (笙)、きむら みか (声)、小原 孝 (ピアノ)、笠井 叡 (舞踏)、神崎ひで女 (地唄舞)、大岡 信 (詩人)、細江英公 (写真家) 等。ランツ・バート ロミュー (チェロ)、吉沢元治 (ベース)、ハムサ・エル・ディン (ウード)、レネ・マックリーン (サクソフーン、フルート) など。

履歴

本名: クリストファー・ブレイズデル (Christopher Blasdel)

芸名：クリストファー遙盟（ようめい）

E-mail: yohmei@gol.com <http://www.yohmei.com>

生年月日：1951年12月29日

国籍：アメリカ合衆国、日本国永住者

学歴

1970年：インディアナ州、アーラム大学に入学

1972-73年：早稲田大学の交換留学生として来日。竹盟社宗家・山口五郎師に入門（尺八）

1974年：アーラム大学を卒業（BA）

1978年：文部省国費留学生として東京芸術大学、大学院楽理科に入学。小泉文夫（民族音楽学）、横道萬里雄（日本音楽学）に師事

1982年：東京芸術大学大学院修士課程終了(MFA)

1982年：東京芸術大学大学院に研究生として入る

1984年：東京芸術大学大学院研究生終了

1984年：山口師より琴古流師範資格と、号「遙盟」を授かる

職歴

1987年～2013年、財団法人・国際文化会館芸術監督

1988年：アーラム大学で客員講師（日本音楽、尺八）を勤める（3ヶ月）

1988年～2013年、朝日カルチャーセンター新宿校・尺八講師

1991年：国際交流基金の派遣により、タイ国、王立チュラロンコン大学で客員教授（日本音楽、民族音楽等）を勤める（4ヶ月）

1997～2001年：英字新聞、「ジャパン・タイムズ」の邦楽記事担当

2001～2006年、国際基督教大学非常勤講師（民族音楽学）

2002年より、テンプル大学非常勤講師（民族音楽学）

2002-2003年、福岡現代邦楽フェスティバル芸術監督

2003年より、プラハ尺八フェスティバル実行委員会、日本代表

2012年～2014年：ニューヨーク州、コロソ日大学中世日本研究所、邦楽コーディネーター

2016年、ハワイ大学非常勤講師（民族音楽）

所属学会

民族音楽学会（Society for Ethnomusicology、略称 SEM、2016年入会）

国際伝統音楽学会（ICTM、1999年入会）

東洋音楽学会（1982年入会）

三曲協会（1984年入会）

虚無僧研究会（2010年入会）

国際文化会館会員（1995年入会）

出版著作、論文等

本：

1988年：英語による尺八入門書 The Shakuhachi, A Manual for Learning (上三郷祐康・共著、音楽之友社・刊)。

2000年：日本語による随筆「尺八オデッセイ—天の音色に魅せられて」(第六回蓮如賞受賞、河出書房新社・刊)。

2005年：The Single Tone—A Personal Journey into Shakuhachi Music (Printed Matter Press—東京—・刊)。

2005年：「ザ・尺八—演奏習得の手引き」(音楽之友社・刊)。

論文、雑誌、学術刊行物等：

1977年10月：「神からの誘い…笛」(『芸術新潮』)

1980年12月：「邦楽とジャズ・フュージョンに見る新しい展開」(『ジャズ・スイング・ジャーナル臨時増刊』)

1981年春：「電子音楽の断章」(『アントロポス』)

1983年、春："Anatomy of a Japanese Festival: The Great Mid-Winter Wakanomiya On Matsuri" (Hogaku v. 1)

1984年3月：「尺八を考える…ディオニュソス及びアポロンの表現法について」修士論文(東京芸術大学)

1984年4月："The Shakuhachi—Aesthetics of a Single Tone" (The Japan Quarterly)

1984年秋：「芸術大学を考える」(『季刊邦楽』40号)

1984年春：「法器から楽器への尺八」(『季刊邦楽』38号)

1985年、7月19日～8月9日(連載)。“Japan's Music and Education” (Asahi Evening News)

1985年春：「故郷への演奏旅行記」(『季刊邦楽』43号)

1987年1月--12月号(連載)「ボクの細道…旅と体験の断章」(『歴史と旅』)

1988年1月4日："As One Body: A 'Hadaka Matsuri" (Mainichi Daily News)

1989年5月8日"A View of a Performer--The Secret of Balance"(Mainichi Daily News)

1990年4月："Seven Sound Wonders of Japan" (Mainichi Daily News)

1991年：「芸術への支援と無支援、全く個人的な四つの体験談」(「企業と文化の対話」より、東海大学出版会)

1992年8月："Plagiarism versus Creative Quotation in the Artistic Traditions of Japan and Thailand" Modern Art in Thailand 1932--1992, Changing Perspectives (presented at International Conference on the Performing Arts, Chulalongkorn University)

1999年8月："The Transmission and Teaching of Traditional Music in Thailand--Research into the Present Situation of Thai Traditional Music" (presented at ICTM Conference, Hiroshima)

2000年8月：“Sound Japan”、The Japan Foundation Newsletter (Vol. XXVIII/No. 1)
2003年8月：Japanese Music Notebook, written, edited and compiled by Christopher Yohmei Blasdel (self-published booklet for ICU ethnomusicology class)
2005年：論文、「尺八音楽～天の音色に魅せられて～」駿河台大学論議
2012：“An Exchange for Fire—The Final Pilgrimage of Poet Craig Arnold”, non-fiction short story, *Chicago Quarterly Review*.

CD

1986年：「迦楼羅の夜…クリストファー遙盟ブレイズデル 時空の闇を翔る現代の尺八」(テイチク・レコード [TECY-28030])
1990年：「遙なる笛…クリストファー遙盟ブレイズデルの尺八の宇宙」(テイチク [TECY-28001])
1996年：「禅問答」(尺八+シンセサイザー)(ムーンブリッジ・レコード「MBR1023」)
1997年：「Heart of Bamboo」-サム・ハミルによる英語詩の朗読+尺八-(Copper Canyon Press)
2001年：「竹の声、人の笛」(FEI Recording)
2004年：「浩々妙音」-ソロアルバム-(ブライトワン・レコード[BOCH0001])
2007年：「breathplay」(インディー)
2010年：「Navarasa」(インディー)
2014年：「Striking Light, Striking Dark」(インディー)

その他の師事歴、主な演奏と研究の活動、等

その他の師事歴：

1979年より：芝祐靖師に龍笛を習う
1980年より：岡本竹外師に明暗尺八を習う
1983-88年：藤井久仁江師に地歌合奏を習う
2003年より：佐藤紀久子氏に地歌三味線を習う
2015年11月：合気道、4段に昇段

主な演奏会など：

1985年：アメリカ・カナダ 18箇所においてコンサート・テレビ・大学において演奏・講義・教習。国際交流基金の派遣により、中国大都市において演奏
1986年：国際交流基金の後援により、山本邦山(尺八)らとともにアメリカにおいて演奏。
1992年：日本芸術振興基金の助成により、来日20周年記念リサイタルを開く
1993年：京都市、黒谷邦楽シリーズ『偉才！クリストファー遙盟の世界』主催：京都市、平安健都1200年記念協会
1993年：北京、西安、上海など、地方の中国音楽教授と組んで演奏旅行
1994年：アルゼンチン国ミシオネス県のジャングルの中の学校を回り、尺八や笛を演奏しながら日本音楽を紹介
1995年：『イサム・ノグチに捧げる悠久の音—クリストファー遙盟・尺八の世界』丸亀市猪

熊弦一郎現代美術館主催

1995年：国際交流基金の派遣により米国地方都市（フロリダ、ジョージア、ペンシルベニア、コロラド、テキサス、カリフォルニア、ハワイ州）で日本音楽を演奏、紹介

1996年11月：招聘芸術家、アトランティック・センター・フォー・ザ・アーツ、米国フロリダ州

1996年6月：オランダ、ドイツ、ポーランド、チェコ、スイスを巡業ツアー、各地の音楽フェスティバルに参加

1996年：『外国人による現代尺八音楽』主演と企画（於：両国 Theater χ(カイ)

1997年1月5日：NHK 正月ドキュメンタリー、「皇居の盆栽」音楽担当（作曲、演奏）

1997年1月6～10日：NHK ラジオ第一放送、「ラジオ談話室」のゲスト出演

1997年2月：招聘芸術家、セントラム、米国ワシントン州

1998年10月～99年3月：ACC（アジア文化協議会）のフェローとして、タイの伝統音楽研究のためにタイのチュラロンコーン王立大学で研究

1998年2～3月：国際交流基金の派遣により米国（ハワイ、ワシントン、ペンシルベニア、ニューメキシコ、カリフォルニア州）で青森の民族芸能（津軽三味線、津軽民謡、津軽手踊りなど）を演奏、紹介

1998年7月：「ボルダー国際尺八フェスティバル'98」を企画し、また、演奏／講演を行う（主催：ボルダー国際尺八フェスティバル'98実行委員会、コロラド大学、国際文化会館。後援：文化庁、国際交流基金、ユナイテッド航空、他）

1999年8月：NHK BS 放送、「滝のアリア」に出演

1999年9月：「竹の声、人の笛」、クリストファー遙盟+きむら みかジョイントリサイタル（於：銀座、王子ホール）

2000年6月：「尺八オデッセイ一天の音色に魅せられて」出版記念リサイタル（於：サントリホール、小ホール）

2000年10月：アメリカ中部の大学（ミネソタ州、ペンシルバニア州）等で日本音楽を演奏、紹介

2000年12月：インド、チェンナイ（マドラス）市、現代パフォーミング・アーツ・フェスティバル"The Other Festival"に出演

2001年2月12日：NHK FM ラジオ特別邦楽番組、「NEO とら庵～21世紀の古典は我がつくる」に出演

2003年3月、国際交流基金援助、ハンガリー、ブダペスト市でブダペスト春芸術祭に参加。

2003年3月、ハンガリー、ブダペスト市、フランツ・リスト音楽学院で日本音楽講義、実演を行う

2003年3月、ブラハ尺八スクール講師、チャールズ大学民族音楽部で日本音楽講義、実演を行う

2003年から現在、国際尺八サマーキャンプに（Boulder, Colorado）講師として招聘される

2003年～現在、ブラハ尺八フェスティバル、実行委員会、常任講師

2004年7月、マレーシア、サラワク州（ボルネオ島）の Sarawak Rainforest World Music Festival に招待演奏家として参加

2004年8月、ニューヨーク国際尺八フェスティバルに招待演奏家として参加

2007年6月、「興に即す」クリストファー遙盟在日35周年記念演奏会、津田ホール、東京

2008年7月、シドニー尺八フェスティバル08実行委員会、出演

2011年4月、米国、カリフォルニア州 CalArts 芸術大学、パモナ大学で後援、演奏

2011年11月、尺八芸歴40周年記念リサイタル、「人籟（じんらい）、クリストファー遙
盟 尺八リサイタル」

2012年10月、テキサス州立 A&M 大学のゲスト講師

2015年10月、オーストラリア尺八フェスティバル（ブリズベーン市）へ招聘される

2016年8月、正派邦楽サマー・スクール講師